

5. 平成 23 年度予算案

久保野幹事より、支出と収入に関する議題が出され、芳賀幹事、石橋幹事より、会員数の増加による増収（若い世代の加入、支部会のみ会員）、年会費の増額、プロジェクト研究数の制限、協賛金、などについて意見が出された（資料 1 3）。収入は昨年 246 名であったが今年度は 300 名の予定、収入を増やす方法の検討の必要性、運営費にメリットをつけて、確実に集めるように期待、支出の中でプロジェクト研究は年に 1 つくらいに制限（以前はほぼゼロの時もあった）、などの意見があった。

6. 平成 23, 24 年度事業計画

戸塚幹事より、総会と例会の今後の予定について、説明があった（資料 1 4）。昭和大学 木村先生、自治医科大 山田先生が今後の総会長、例会長への就任を打診され、自治医科大 山田先生は第 21 回（H25, 6 月）を希望された。大久保幹事より、幹事名簿の確認を行うべきとの指摘があった。青木幹事より、第 29 回日本臨床化学会関東支部例会（12 月 3 日予定）と第 23 回日本臨床検査医学会関東甲信越支部総会との合同開催はもしくは同日開催は可能か、各本部への確認の必要性、会場運営費の支出割合、などの質問があった。

7. 内規、申し合せ改定案について

芳賀幹事より、改定案について説明があった。

8. その他

前事務局 菊池幹事より、ニュースレター配信のため E-mail アドレスを知らせて頂きたいとの意見があった（現在、アドレス名簿を再作成中である）。通信費削減のためにも有用との意見があった。

（文責 平山哲，三宅一徳）